

一、點火してより絶えず火の加減を良くなし洗瓶、爐前バキーム及爐上温度又はコンデンサーの流水温度を注意する事。

一、初溜後、二期二期の反應の時は特に注意をなし若し釜前バキーム五度乃至十度下る時は組長ボンプ係と力を併せ噴出せざる様にすべし。

一、温度は必ず三十分毎に記入しコンデンシングのコック切替、比重及び温度計の見方は間違なき様注意すべし。

一、コンデンサーに故障を生じたる時は直ちに職長及組長に届出る事。

硝石乾燥係心得

一、乾燥硝石を仕込後直に生硝石の乾燥をなし芥を拾ひ空袋は丁寧に掃き二階を清潔になし餘分の硝石又は空袋等を周圍にかざる事。

一、雨天の時は二階各窓を閉じ室内に水氣の入らぬ様に注意する事。

一、硝石は一時間乃至一時間半宛に必ず丁寧に反すべし。

一、硝石乾燥爐及鐵板接續部に間隙を生せし場合は早速之を修理し然る後にあらざれば使用するべからず。

釜雜係心得

一、常に洗瓶の廻り釜前等清潔になし石炭及石灰を室内に運ぶ時途中にて落さざる様注意すべし。

一、洗瓶に弱酸及石灰を吸入し又搾り取る時にはコックを注意する事。

一、停電の時は直ちに原動室に走り送電を請求する事。

一、酸性曹達搬出の時は必ず門外の安全の鎖を掛けてからトラッコを押出す事。

一、釜より酸性曹達流出せし時は特に注意して誤りなき様注意する事。

一、石灰を漉す時は比重一、二〇に必ず溶きて使用する事。

一、蒸溜終りし後弱酸は瓶に搾り取り石灰は會所以外に捨てざる様に注意すべし。

混酸係心得

一、常に強硝酸を取扱ふ故怪我せぬ様に注意すること。

一、釜より酸性曹達を流出する時は眼手足に負傷せざる様注意する事。

一、混酸場及貯藏タンクの廻りは清潔になし酸の漏るゝ所あれば注意して瓶の破れを受け應急手當をなす事。

一、仕込の時は硫酸及廢酸の寸法を見誤りなき様注意する事。

一、混酸送酸の際はコックの取扱ひに注意する事。

一、コック手入をなす時はバイブ内のエーヤを拂てよりする事。



- 一、硫酸用大タンク及室外のモンジューは一年一回小タンク及モンジューは腐蝕の程度を検査して一年に二回若しくは三回掃除手入をする事。
- 一、混酸用攪拌機及モーターの手入を一年に二回行ふ事。
- 一、度量衡器の外部を一週一回掃除手入をなし内部を取りはずして一年に四回掃除検査をなす事。

修繕係心得

- 一、陶器類の破損せざる様大切に取扱ふ事。
- 一、パイプの接目を注意して酸を漏らす事なき様注意する事。
- 一、高所の修繕の時は足場を充分に注意して始める事。
- 一、釜修繕の時は繼電氣の接線の悪き物を使用せざる事。
- 一、修繕用道具使用後は一定の場所に仕舞ひをく事。
- 一、破損せし陶器を取換へる時は職組長に届出る事。

一般作業心得

- 一、原料消耗品電力水蒸汽等を濫費せざる事。
- 一、消火器、消火栓、ホースは毎月一回月の始に點檢する事。

硝化室作業心得

紙切場係心得

- 一、紙切場係は服装を清潔にし又度々掃除をなし常に紙切場及び附近を清潔に保つべし。
- 一、出入にはよく體を拂ひ體に附着したるまゝ原紙を持ち出さぬ様又塵を持ち込まぬ様注意する事。
- 一、カッターに掛ける前に巻原紙はよく塵を拂ひ汚れたる所は其の部分だけ丁寧に取り取りて良い原紙を屑にせぬ様に注意する事。
- 一、紙切作業中は原紙が片寄りてカッターのシャフトに巻き付き又は油に汚れたりする事なき様に注意しよれたる原紙や褶のよりたる原紙は丁寧に延したる後カッターにかける事。
- 一、毎日原紙の受、使用、越高を調べて現在高と引合す事。
- 一、雨天の時は特に注意して、窓入口の扉を閉ぢ原紙の水分吸収を防ぐ事。
- 一、台秤の取扱ひを丁寧に秤量を正確にする事。
- 一、外袋包装紙原紙の心等は酸又は汚土の附着せぬ様丁寧に取扱ひ之を纏めて敷を間違へぬ様に倉庫に返す事。
- 一、切斷したる原紙片の大きくなりたる時はカッターを取り換へる事。



- 一、紙切機旋風機電動機及び附屬のメタル等の注油並に掃除に注意する事。
- 一、原紙はセルロイドの原料なるを以て大切に取扱ひ鼻紙其の他の雜用に使用すべからず。

#### 混酸係心得

- 一、酸を移動する場合にはモンヂューの壓力計に細心の注意をしてエーヤの壓力の上りし爲に酸の溢れるが如き事あるべからず。
- 一、酸槽モンヂューは使用前に酸の有無を確むる事。
- 一、酸エーヤ等のパイプのバルブの開閉は完全に行ひて漏れ等のなき様に注意する事。
- 一、平常はエーヤの出口のバルブは必ず開き置く事。
- 一、常に酸槽バイブバルブ等の故障に注意して若し發見したる時は小さき故障と雖も速に修理する事。
- 一、混酸に當りては割當に注意して配合を誤らぬ事。
- 一、常に攪拌は充分に行ふ事。
- 一、試験見本は可成速かに出す事。
- 一、混酸の状況によりては温度の上昇等あるべければ冷却等適當の處置を怠らぬ事。
- 一、多量の酸の外に流れ出でたる時は直ちに係員に報知すべし不注意に水を加へる時は高熱を發し瓦斯を出し却つて危険なることあれば注意して回収出来るだけ回収して後に水を流すべし。
- 一、時々混酸タンクの攪拌機を検する事。

#### 除酸係心得

- 一、除酸作業は最も重要な作業の一なれば常に細心の注意を拂ひ除酸機及附屬品特に蓋バッキングの完全を期すべし僅かにても故障あれば必ず修理して後に作業を始むべし。些細なる事より硝化綿の分解を惹起すること少しとせず。
- 一、交代は必ず五分間以内に終了する如く行ひ以て作業を正規に進める事。
- 一、停電其の他の故障ある場合には長く硝化綿を除酸機内に放置し又は蓋を取りて空氣に觸れしまゝ放置するが如き事あるべからず。
- 一、硝化タンク内に硝化綿を殘さぬ様にする事特に作業の終りは注意しタンク内の酸を取り出し以てタンクの腐蝕を防ぐ事。
- 一、硝化を初むる前にタンクを掃除して錆塵を除く事。
- 一、除酸機、電動機の注油及掃除に注意する事。

#### タンテーパー係心得

- 一、漬け込み係は必ず眼鏡手袋等の防具を用ひ原紙は丁寧に捌きてタンクの中に入れ決して外に落さ



ぬ様に注意し漬込み終らば攪拌を充分行ふべし。

一、攪拌機を回轉するには注意して徐々に初めて酸が飛び散る事なき様に注意すべし若し誤りて飛ぶ時は漬け込み係に注意を與へると同時に靜かに回轉を止めて接續其他に異變なきかを見定めて後再び始める事。

一、二番突係は硝化綿の固りを碎く事に努力し碎き終れば硝化綿が酸の上に浮かぬ様に丁寧押へ周圍に附着せる汚きものを拂ひて後靜かに蓋をすること。

一、漬け込み二番突きは注意して丁寧に行ふべし然らざれば一滴の酸の飛沫の爲に思はぬ怪我を惹起することあるべし。

一、ターントーブル、攪拌器及モーターの注意を怠らぬ事。

一、ターントーブルは硝化タンクが正しく定位に到る迄回轉すべく然ざれば攪拌機がタンクの中央に來なかつたりタンクが除酸機の正面に來ずして事故の原因となる事あり。

一、努めて掃除をなし作業場を清潔に保つこと。

一、常に硝化タンクに注意して酸漏り等の故障を未然に防ぐこと。

一、原紙罐の取扱ひを丁寧にすること罐内に原紙が残らぬ様注意する事。

#### バランス係心得

一、バランスは重要にして而も故障し易きものなれば仕事の始めには必ず無試を行ひ其の正確を見定めて後各酸の使用量を正確に秤るべし。

一、地下の酸係との連絡を充分に取りて酸の溢れる事なき様注意すべし。

一、温度タンクの温度に注意して所定の温度と相違する時は之を温度係に報ずる事。

一、分析用使用酸を取る時は攪拌を充分行ひて後とるべし。

一、酸變りに注意して其の際のB酸の量を間違へぬ事。

#### ホイスト係心得

一、規定の除酸時間を厳守する事此の爲に除酸係の交代等に適當の注意を與へる事あるべし。

一、杯數と時刻を引合せて間違ひなく仕事を進むる事。

一、酸變り故障の時間等を怠らず記入する事。

一、ホイスト取扱中は除酸係の行動に注意し之との連絡を確實にする事。

一、分析を取るべきタンクを間違へぬ事。

一、ホイストの手入を怠らぬ事。

一、タンク引上用鎖及針金等を常に注意して取調べる事。

#### 硝化室一般作業心得



- 一、「ターミネーター」硝化タンク、温度タンク、バランス等は時々腐蝕又は破損の箇所を検し修理を行ひ程度により一年数回の掃除手入を行ふ事。
- 一、電氣の故障は凡て電氣部に點檢修理を乞ふ事。
- 一、水、蒸氣、空氣、電力並に原料消耗品を濫費せざる事。
- 一、消火器具、消火栓、ホース等は毎月一回其の月の始に點檢する事。

#### 雑役係心得

- 一、室内の機械器具の手入注油等を怠る可らず。
- 一、雑役は瓦斯抜用煙突及木樋、吸收塔旋風機等を注意する事。  
若し故障ある時は適當の處置をとるべし。
- 一、硫酸用大タンクは一年に一回A・B・C酸用大タンク及「モンヂュー」等は時々腐蝕の程度を検して一年に二回乃至三回掃除手入を行ふべし。

#### 鉛槽係心得

- 一、鉛タンクの水張りは相當の技巧を要するものなれば硝化綿が速かに沈む様注意して行ふべし。
- 一、硝化綿を後に残さぬ様にする事特に口替の時に注意を要す。
- 一、口替は洗場との連絡を確實にして間違ひなき様になすべし。

- 一、常に落口の破損に注意して水漏なき様修理する事。
- 一、木片、鉛等の落ちるを認めたる時は速かに洗場鉛タンク係に通知する事。

### 硝化分析室試験者心得 (一)

#### 混酸分析者心得

- 一、「ビベット」にて試料採取の際試料瓶中の酸の量に絶えず注意して採り酸量少き時は特に注意して採取する事。
- 二、試料を「フラスコ」中に稀釋して後「ビベット」にて採取する時も注意する事。
- 三、試料を「ナイトロメーター」中に入れて後硫酸を注加する際熱を發生する故に徐々に注加する事。
- 四、硫酸にて「ナイトロメーター」の注入口を洗滌注加する時注加口の高さが眼と同じ位なる故注意して行ふ事。
- 五、試料及硫酸を入れて「ナイトロメーター」を振盪する際注意して行ふ事。
- 六、試験後「ナイトロメーター」を洗滌する際有毒瓦斯を出す故通風によく注意する事。
- 七、「ナイトロメーター」を支持する「スタンド」「クランプ」及び「ナイトロメーター」の反應管と壓力管との連結するゴム管等に損傷なきか時々検査する事。



## 硝樟板ノ水分試験者心得

- 一、硝樟板を「トルオール」と共に高温度にて長時間煮沸する故に細密に注意して若し非常の際は直ちに電氣の「スイッチ」を切りて落着きて備付けの砂又は布にて消火して水を散布せざる事。
- 二、試験の終りたる硝樟板は瓶中に入れてきて焼場に捨てる事。

## 硝化分析室試験者心得 (二)

## 安定度試験者心得

- 一、室内に硝化綿「セルロイド」「バラフィン」等ありて火氣使用する故に最も注意し試験中は必ず一人以上居る事。
- 二、試験終了後は瓦斯口に注意して止め掃除をして乾燥中の綿以外の硝化綿或は「セルロイド」を室内に留置しをかざる事。  
又試験中と雖も必要な「セルロイド」等は備へ付けの鉄力箱にいれをく事。
- 三、試験後の「セルロイド」は鐘にいれをき焼場に捨てる事。
- 四、床の間隙に散亂せる「セルロイド」或は硝化綿の粉末は危険なる故に毎週土曜日に試験後大掃除をする事。

五、非常の際は直ちに瓦斯を止め落着きて備へ付の砂或は布にて消火する事。

## 一般試験者心得

- 一、特別試験例へば硝化試験等にて多量の酸を取扱ふ時は注意する事。
- 二、混酸をなす時は特に注意し若し水の混合を必要とする時は必ず水の中に酸をいれる事決して酸中に水を混合せざる事。
- 三、粘稠度試験後容器洗滌の爲酸にて分解する時は熱及び多量の有毒瓦斯を發生する故容器中の殘液を出来るだけ取り通風よき場所にて行ふ事。
- 四、水、蒸氣、電力及び消耗品を濫費せざる事。

## 洗滌室作業心得

## 鉛タンク係心得

- 一、受持器具並に硝化綿受箱中の破損箇所等能く調べ運搬車車輪に注意し注油完全なるものになしおく事。
- 一、引續作業に於ては洗番號並に杯數等間違ひなき様引合しおく事。
- 一、上係は水の抜くるを待つて固りを能く捌き塵に充分注意して新しき塵を發見せし時はその番號を



記入しておく事。

- 一、口換を確實に行ひ跡に残らない様に注意する事。
- 一、下係は中央部分が固くならない様に平均に馴し塵に注意する事。
- 一、次に使用する運搬車の内部に塵並に硝化綿の残りおらざる様にする事。
- 一、分解品並に塵多數に混入せしもの落す時は責任者に報告し指圖をうくる事。

#### 煮沸係心得

- 一、受持器具等點檢し蓋並に運搬車の廻りの塵に注意して常に掃除し置く事。
- 一、煮沸時間(二時間半)並に温度「九十五度乃至九十九度」を嚴守し温度を測る時には四角をおさえ能く蒸氣を通す様にする事。
- 一、煮沸中の運搬車の外部に蒸氣の漏れない様各蒸氣の一樣に通せしめるため常に「ゲージ」に注意し(二十封度)より降る時は責任者に報告する事。
- 一、檢温器は丁寧に取り扱ひ決して破損等なき様に注意する事。
- 一、怪我、火傷等に充分注意する事。

#### 仕揚係心得

- 一、硝化綿は大切に取扱ひこぼさぬ様注意し一旦こぼしたる物は必ず掃寄せに蓄へ置く事。
- 一、硝化綿投入の際には能く捌き終りし時は硝化綿の残らぬ様極丁寧に洗ひ置く事。
- 一、硝化綿仕揚の際は不同のなき様平均に揚げ「カード」は一枚づゝかける様注意する事。
- 一、塵取にたまりし塵は特に注意選別し跡に残らない様丁寧に掃除し置く事。
- 一、投入並に仕揚に際し足に附着し居る塵は入らない様能く注意する事。
- 一、運搬中怪我等のなき様充分注意する事。

#### 洗滌係心得

- 一、備付器具の不足並に破損の有無を能く點檢して常に注意する事。
- 一、水張(三十分間)水抜(三十分)を確實に守り一樣に洗滌する事。
- 一、洗滌中木屑、塵、赤紙等別種の物を發見せし時は速に採り備へ付けの箱に蓄へ置く事。
- 一、使用袋は時々丁寧に洗ひ破れて無き物使用する様に注意する事。
- 一、洗タンク内部並に廻りは常に清潔にして硝化綿のこぼれ水汚等に注意する事。
- 一、殘酸試料は規定の洗ひ回数に間違ひなき様硝化分析室に提出する事。
- 一、昇降機にて人又は運搬車を昇降せんとする場合には階上と階下とに連絡合圖をなし然る後注意して靜かに運轉をなす事。
- 一、洗タンク附屬メタル羽根、ベルト等を一週一回必ず點檢して修理掃除注油等に注意する事。



## 細断係心得

- 一、細断機を運転せんとする時は規定の部分に注油し機械の調子並に調帯齒車等充分點檢する事。
- 一、故障なきと認めたる後始めて規定の數量(四十二キロ乃至八十四キロ)の硝化綿を充分丁寧に捌き塵等に注意して機中に入れる事、然し機械と雖も決して無理な使ひ方をせぬ事。
- 一、硝化綿細断中は必ず革寄「ハンドル」にて送運轉掛け攪拌して細断を一樣ならしむ様に注意する事。
- 一、細断中異狀を認めたる時は直ちに停止して細部分迄點檢し故障なきを認めたる後運轉開始する事。
- 一、硝化綿は丁寧に取扱こぼさぬ様注意する事。
- 一、細断終りたる細断機の上げ下げは決して急激に「ハンドル」を廻さざる様注意する事。

## 除水係心得

- 一、除水機を運轉せんとする時は齒車に注油し機の廻りを丁寧に點檢し一度試験を行ふ事。
- 一、故障なきと認めたる後始めて細断綿を八分目迄入れ能く馴らして運轉開始と同時に蓋をなし決して手の中に入れざる事。
- 一、運轉規定時間(其都度示す)を確實に守り能く水を搾り運轉停止後蓋を上げ決して不潔なる手にて

## 細断綿を取扱はざる事。

- 一、除水機附屬電氣器具の部分は危険に付過失なき様注意し運轉中異狀を認めたる時は直に運轉中止検査する事。
- 一、細断綿の出し入れは丁寧になし決してこぼさぬ様塵等も特に注意して選別する事。
- 一、服装は常に清潔にして一度身の廻りを調べ絲屑塵等の附着しない様に注意する事。
- 一、水分試料は除水毎に採り平均して硝化分析室に提出する事。
- 一、水の付きたる手にて電氣器具(スウキツチ)「フューズ」其の他電流の通しつゝある線又は器直接に觸れざる様に注意する事。

## 一般作業心得

- 一、原料、消耗品、水、蒸氣、電力等を濫費せざる様に注意する事。
- 一、消火器、消火栓、ホースは毎月一回月の始めに點檢する事。

## 貳號室作業心得

入場後は職組長の命に徒ひ左記の事柄に特に注意すべし



- 一、燐寸、煙草其の他發火の恐れあるものは工場内に持ち入らざる事。
- 一、各自所持の機械器具は丁寧で使用し常に油の切れざる様注意する事。
- 一、硝化紙及樟腦の秤量を正確にする事。
- 一、混和機回轉中決して中に手を入れざる事。
- 一、硝樟板一枚の目方は常に均一に作る様注意する事。
- 一、ホイス使用の時は特に上下に注意する事。
- 一、水壓使用の際低壓バルブをしめざるうちは決して高壓バルブを開かざる事。
- 一、水壓バルブの漏れる時は直ちに責任者に報ずる事。
- 一、硝樟板積換の時はこぼさぬ様に静かにする事。
- 一、布團乾燥室の温度は所定の温度に保たしめ「モーター」の「スパーク」に注意する事。
- 一、特に室内を清潔にして硝化紙に塵、絲屑等の混入せぬ様注意する事。
- 一、硝化紙は細片と雖も危険に付室内外に飛散せしめざるは勿論決して暖房の周圍に近づけざる事。
- 一、作業は丁寧親切になすべし。せいては却つて怪我損じ等あるべし。
- 一、作業中負傷したる時は捨ておかず直ちに工務室に行き手當をうくる事。
- 一、原料、消耗品、水、水壓、蒸氣、壓搾空氣等を濫費せざる事。

一、消火器、消火栓、ホースは毎月一回月の始めに點檢し消火バケツは毎朝満水しをく事。

#### 樟腦洗滌係心得

- 一、樟腦受渡しの際數量を確める事。
- 一、樟腦篩は塵を見落しなき様取る事。
- 一、樟腦は正確に秤量する事。
- 一、樟腦は充分に洗滌する事。
- 一、昇降機使用の際上に注意する事。
- 一、樟腦外袋及び中袋を丁寧に掃除して倉庫に送る事。
- 一、モーター及びメタルに油の切れざる様注意する事。
- 一、諸物品を丁寧に取扱ふ事。
- 一、地下室内を清潔にする事。

#### 配合係心得

- 一、混和機は一ヶ月一回之を點檢し毎週土曜日に大掃除をする事。
- 一、電氣起動器も同時に掃除する事。
- 一、硝化紙運搬の際は必ず覆を掛ける事。



- 一、硝化紙を正確に秤量する事。
- 一、硝化紙樟腦をこぼさぬ様に使用する事。
- 一、混和機運轉中は一切手を入れざる事。
- 一、昇降機引き上げる際下に注意する事。
- 一、諸物品を丁寧使用する事。
- 一、室内を掃除する時は必ず土間に水を撒く事。
- 一、常に室内を清潔にして作業する事。
- 一、怪我仕損じなき様充分注意する事。

#### 押方係心得

- 一、硝樟板の目方を一枚一疋五〇〇瓦より二疋迄とする事。
- 一、硝化紙に絲屑及び塵の混入せぬ様注意する事。
- 一、硝化紙をこぼさぬ様に注意して作業する事。
- 一、大プレス係はホイスト使用の際上下に注意して「クレードル」を静かに運搬する事。
- 一、「クレードル」より硝樟板の出し入れの際角をかく様注意する事。
- 一、角布及び薄布團の破れは一切使用せざる事。

- 一、枠の周囲にこぼれたる硝化紙を拾つて混入せざる事。
- 一、水壓バルブの洩れる時はすぐに責任者に報ずる事。
- 一、「ホイストワイヤロープ」及水壓機附屬器具を時々点検する事。
- 一、ホイスト使用始めに必ず注油する事。
- 一、諸物品を丁寧に使用し怪我仕損じなき様充分注意する事。
- 一、室内掃除の際必ず水を撒き常に清潔にして作業する事。

#### 乾燥室心得

- 一、乾燥温度は常に六十度迄に嚴守すべし。
- 一、入換の際布團の落ち込まぬ様に注意する事。
- 一、入換後は必ず含水オガクズを撒き室内を掃除する事。
- 一、危険に付モータースパークに特に注意し必ず毎日朝夕掃除する事。
- 一、モーターメタルに毎朝必ず注油する事。
- 一、乾燥室内は土曜日毎に大掃除する事。

#### 積換係心得

- 一、硝樟板をこぼさぬ様靜に積換し積換時間を正確に實行する事。



- 一、積換の際薄布圍の破れを使用せざる事。
- 一、角布をめぐる時は硝樟板の角をかゝぬ様に注意する事。
- 一、常に拂出秤量を正確にする事。
- 一、高壓低壓バルブの洩れる時はすぐ責任者に報ずる事。
- 一、硝樟板は規定の時間迄壓搾したる後水分試験を行ふ事。
- 一、積換に充分乾燥したる薄布圍を使用する事。
- 一、積換の際角布の四方折込まぬ様注意する事。
- 一、硝樟板運搬の時雨天なれば特に含水せざる様注意する事。
- 一、作業中怪我仕損じなき様充分注意する事。

#### 倉庫係心得

- 一、硝樟板秤量は正確にして送る事。
- 一、塵取りの際角をかゝない様靜かに取扱ひ塵絲屑等の見落しなき様充分注意する事。
- 一、硝樟板に塵のかゝらぬ様出し入れ後は一々覆を掛ける事。
- 一、室内を度々掃除する事。

#### 碎斷室心得

- 一、硝樟板運搬の際必ず覆を掛け特に雨天の時含水せざる様注意する事。
- 一、硝樟板出し入れの時靜かに取扱細く碎斷して送る事。
- 一、碎斷硝樟板運搬と口置場所は常に覆を掛ける事。
- 一、モーターメタルに油の切れざる様注意する事。
- 一、危険に付モータースパークに注意して毎日朝夕必ず掃除する事。
- 一、室内を充分掃除して作業し怪我仕損じなき様注意する事。

#### 配合室作業心得

- 一、煙草及マッチ其他發火の原因となるべき物を工場内に携帯すべからず。
- 一、消火バケツに常に水を満し置く事。
- 一、消火栓及ホース等は一ヶ月に一回(月始め)に點檢する事。
- 一、作業中雜談を禁ず。
- 一、作業中所定の場所を離るべからず。
- 一、消耗品の節約をなすべし。
- 一、昇降機運轉の際は必らず合圖をなし御互に怪我なき様注意すべし。
- 一、感電の危険あるを以て係電工以外の者は電氣器具一切の修理は勿論日常許されたる箇所以外に手



を觸れ或は近づくべからず。

一、混和機は運轉の初め必ず注油し機の内外及び周圍は常に清潔を保ち齒車掃除の際は怪我に注意すべし。

一、染顔料の計量は正確且嚴密なるべし。

一、酒精は所定の仕込料を正確且嚴密になすは勿論飯起手入の際出來得る限り節約をなし濫用せぬ様注意すべし。

一、温度タンク内の酒精は常に攝氏十五度に保つべし。

一、浸漬するに先ち長持及び漬箱は充分に掃除をなし汚れなきやを檢查すべし。

一、種類の異なる飯の混入せぬ様注意すべし。

一、攪拌櫂を使用するに先ち其の先端を檢查し色木屑の混入せぬやう注意すべし。

一、屑を漬込む際酒精の濫用色別種別特に塵埃の交らぬやう注意すべし。

一、總て原料品及其他秤量すべき物品の受渡は嚴格になすべし。

一、酒精容器及仕込箱等は常に密閉して酒精の揮發を防ぐ事。

一、室内保温に注意する事。

一、室内外にある蒸氣管及暖房等に飯セルロイド又屑其他の燃焼物を接近し又は接觸せしめざる事。

一、一ヶ月一回(月末)室内隅々及常に目に觸れざる部分を掃除する事。

一、器具機械は常に整理し置く事。

一、仕込箱上は常に清淨になし土足又は汚れたる足で上るべからず。

#### ロール室作業心得

一、煙草マッチ其他發火の原因となるべき物を工場内に携帯すべからず。

一、作業中雜談を禁す。

一、作業中故なくして各自受持ロールを離るべからず。

一、所定の作業時間を嚴守すること。

一、係員の許可なくして樟腦酒精其他の原料品を使用すべからず。

一、消耗品の節約をなすべし。

一、感電の危險あるを以て係電工以外のものは電氣機一切の修理は勿論日常許されたる箇所以外に手を觸れ或は近づくべからず。

一、總て原料品其他秤量すべき物品の受渡は嚴格になすべし。

一、機械は常に丁寧に取り扱ひ掃除を完全になし且つ常に注油を怠るべからず。

一、室内外蒸氣管又は暖房にセルロイド又は屑或は飯其他の可燃物を接近又は接觸せしめざる事。



- 一、一ヶ月一回(月末に)室内大掃除を行ふこと。
- 一、消火バケツには常に水を満たし置く事。
- 一、消火栓及びホースは一ヶ月一回月始めに點檢する事。

#### 壓搾截斷室作業心得

- 一、煙草及マッチ其の他發火の原因となるべき物を工場内に携帯すべからず。
- 一、作業時間と休憩時間との區別を嚴守し各自受持の仕事は熱心に行ふべし。
- 一、昇降機運轉の際は必ず合圖をなし互に怪我せぬ様に注意すべし。
- 一、機械器具は凡て丁寧に取扱ひ且つ常に清潔にすべし。
- 一、プレスに枠の出入し及び枠の組立取外しの際は怪我せぬ様各自慎重に注意して作業すべし。
- 一、截斷刃の研磨及び其の取付け取外しの際は勿論平削中刃物と品物との間にて手指を傷くる事多し注意すべし。
- 一、「ギロチン」取扱者は常にその手先に注意を怠るべからず。
- 一、機械の各部及車軸等の掃除並に注油を忘るべからず。
- 一、壓搾の時間壓力及溫度は所定の通り嚴守すべし。
- 一、ロール仕上品特に組立物及班物は永く空中に曝すべからず。

- 一、ロール仕上品を枠に入る時は汚れ塵芥の入りぬ様注意すべし。
- 一、プレナー係は指定の削厚に揃へて削る様注意を拂ひ且つ出来るだけ削屑を減する様心懸くべし。
- 一、取扱ふべき品物は最も芥を忌むものなれば室内及び衣類は常に清淨となすを旨とすべし。
- 一、吸取紙及波形紙は丁寧に取扱ひ周圍を破損すべからず。
- 一、消火「バケツ」には常に水を満たし置く事。
- 一、消火栓及ホースは月始めに一回點檢すべし。
- 一、一ヶ月一回月始めに室の隅々及び目の届かざる所を掃除すべし。
- 一、室の内外にある蒸氣管暖房及「トラップ」等にセルロイド屑或は油ホロ等其の他可燃物を接近又は接觸せしむべからず。

#### 艶付室作業心得

- 一、煙草及マッチ其の他發火の原因となるべき品物を工場内に携帯すべからず。
- 一、作業時間と休憩時間との區別を嚴守し各自受持の仕事は熱心に之れを行ふ可し。
- 一、昇降機運轉の際は必ず合圖をなし御互に怪我せぬ様注意すべし。
- 一、プレスに艶付板出入の際は落さぬ様注意すべし。
- 一、艶付物特に透明物は汚さぬ様各自手を清潔にし、銅板の手入及取扱を丁寧にすべし。



- 一、艶付機の壓搾時間、壓力及溫度は所定の通り嚴守すべし。
- 一、機械「トロ」の取扱ひに注意し運搬の際品物を落さぬ様注意すべし。
- 一、取扱ふべき製品は最も芥を忌むものなれば室内及衣服は常に清潔にすべし。
- 一、消火「バケツ」には常に水を満たし置くべし。
- 一、消火栓及ホースは一ヶ月一回月始めに點檢すべし。
- 一、月始めに一回室の隅々及び常に目の届かざる場所を掃除すべし。
- 一、室の内外にある蒸氣管暖房及「トラップ」等にセルロイド及び其の他の可燃物を接近又は接觸せしむべからず。

一、製品及び機械器具は丁寧に取扱ふべし。

#### 乾燥室作業心得

- 一、煙草、マッチ其の他發火の原因となるべきものを工場内に携帯すべからず。
- 一、作業時間と休憩時間との區別を嚴守し各自受持の仕事は熱心に行ふべし。
- 一、乾燥室内は常に所定の溫度を保つ様に注意すべし。
- 一、乾燥室内に吸取紙及波型紙の破片が散亂せぬ様常に掃除をなし清潔にすべし。
- 一、作業終りたる時は乾燥室内の電燈を必ず消すべし。

一、毎日作業終りには各室共掃除すべし。

- 一、製品運搬中は「トロ」より落さぬ様注意すべし。
- 一、消火栓及ホースは月始め一回點檢すべし。
- 一、機械の注油及掃除を怠るべからず。
- 一、電球には必ず「グローブ」をはめる事。
- 一、室の内外にある蒸氣管暖房及「トラップ」等にセルロイド屑及可燃物を接近又は接觸せしむべからず。



昭和四年三月二十八日印刷  
昭和四年三月三十日發行

社會局勞働部

印刷者 西協嘉市  
東京市京橋區北橫町九番地

印刷所 一成社印刷所  
東京市京橋區北橫町九番地  
電話京橋八一三番



## 労働保護資料目次

- 第一輯 歐米ニ於ケル工場監督制度(缺本)
- 第二輯 鑛山ニ於ケル診療機關(缺本)
- 第三輯 本邦ノ労働監督制度
- 第四輯 鑛接作業ノ人體ニ及ホス影響
- 第五輯 佛國労働法典
- 第六輯 震災ノ工場ニ及ホシタル被害並影響(缺本)
- 第七輯 醸造工場樽工ノ職業性皮膚炎及發育變異(缺本)
- 第八輯 晝夜業ト血壓、體重並疲労狀況
- 第九輯 有害工業解説
- 第十輯 労働者ノ餘暇利用ニ關スル調査
- 第十一輯 抗夫ヨロケ病及ソイル氏病ニ關スル調査
- 第十二輯 労働者災害補償法全集
- 第十三輯 共済組合ニ關スル法規
- 第十四輯 日本ニ於ケル災害防止運動及工業衛生
- 第十五輯 英獨塊ニ於ケル鉛工場ノ取締規則
- 第十六輯 安全ト採光
- 第十七輯 上海ニ於ケル兒童労働調査書
- 第十八輯 本邦蓄電池工場ニ於ケル鉛中毒患者發生ノ狀況
- 第十九輯 瑞西工場法令、印度工場法
- 第二十輯 工場作業場内空氣ノ理化學的性質ニ關スル調査
- 第二十一輯 工場ニ於ケル寄宿舎ノ現況ニ關スル調査
- 第二十二輯 工場鑛山ニ於ケル業務上ノ不具癡疾者ノ現況ニ關スル調査
- 第二十三輯 有害工業解説(其ノ二)
- 第二十四輯 印度工場法
- 第二十五輯 工場災害豫防ニ關スル各國法規
- 第二十六輯 綿紡織機械安全設備(紡績の部)
- 第二十七輯 同 (機械の部)
- 第二十八輯 我國ニ於ケル産業災害豫防ノ概況
- 第二十九輯 安全委員會及安全週間ニ關スル調査
- 第三十輯 産業災害統計ノ方法
- 第三十一輯 護謨工場ノ災害防止



14.5  
173



終